

Fine Kernel ToolKit システム (MinGW 版) セットアップマニュアル

FineKernel Project

(2014 年 4/9 版)

注: 本書の「\」(バックスラッシュ) 記号は、フォントやキーボードによって「¥」と表示されるので、適宜読み替えること。

1 アカウント権限設定

利用を想定するアカウントの種類が「標準ユーザー」であった場合、セットアップ時は種類を「管理者」にしておく必要がある。以下のような手順を実行しておくこと。

1. コントロールパネルを開く。
2. 「ユーザーアカウント」の項目にある「ユーザーアカウントの追加または削除」を選択する。
3. 利用を想定するアカウント名を選択する。
4. 左側のリストから「アカウントの種類の変更」を選択する。
5. 「管理者」を選択し、「アカウントの種類の変更」ボタンを押す。

2 MinGW のセットアップ

ここでは、フリーの開発環境である MinGW のセットアップを行う。まず、以下の手順で MinGW のインストーラを取得する。

1. Web ブラウザで「<http://sourceforge.net/projects/mingw/files/>」にアクセスする。
2. 「Installer」をクリックする。
3. 「mingw-get-setup.exe」をクリックする。

次に、ダウンロードしたインストーラを起動し、以下の手順を実行する。なお、アカウントの選択画面が表示された場合は、利用を想定するアカウントを選択しておくこと。

1. 「Install」を押す。
2. 「in the start menu」のチェックと「on the desktop」のチェックを外す。
3. 「Continue」を押し、ダウンロードが終わるまでしばらく待つ。
4. ダウンロードが終わると「Continue」というボタンが押せるようになるので、「Continue」を押す。
5. 「mingw32-base」の部分を押し、出てくるメニュー中から「Mark for Installation」を選択する。すると、チェックが入る。
6. 「mingw32-gcc-g++」についても同様の操作でチェックを入れる。
7. メニュー中にある「Installation」から「Apply Changes」を選択する。
8. 「Apply」を押すとダウンロードとインストールが始まるので、しばらく待つ。
9. 終わったら「Close」というボタンが押せるので、そこで押して終了する。
10. 「MinGW Installation Manager」も終了する。

3 FK (MinGW 版) のインストールとセットアップ

次に Fine Kernel ToolKit システム (以下「FK」) のセットアップを以下の手順で行う。

1. 以下の URL から、「MinGW 用インストーラ」項目にあるインストーラをダウンロードする。

<http://sourceforge.jp/projects/fktoolkit/releases/>

2. インストーラを起動し、指示に従ってインストールする。
3. もし FK を C:\FK_Ming 以外にインストールした場合は、FK_Ming フォルダの中の bin フォルダの中にある、fkming.bat というファイルをテキストエディタで開き、3 行目の「SET FKPATH=」の後に FK_Ming を展開した場所を指定する。

4 実行パスの設定

次に、MinGW と FK の実行環境を実行パスに追加する。設定方法は以下の通りである。

1. コントロールパネルを開き、「システムとメンテナンス」を選択する。
2. 「システム」を選択し、左側に出るリスト中から「システムの詳細設定」を選択する。
3. ダイアログ中の「詳細設定」タブを選択し、「環境変数」ボタンを押す。
4. アカウント選択のダイアログが表示された場合、利用を想定するアカウントを選択しパスワードを入力する。
5. 上下にある表のうち、上のリストを参照する。もし変数項目に「PATH」というものがなかったら「新規」ボタンを、あったら「PATH」項目を選択して「編集」ボタンを押す。
6. 「変数名」に「PATH」を、「値」に「C:\MinGW\bin;C:\FK_Ming\bin」を入力する。もし既に値が設定されている場合、その行末にセミコロンを入力し、その後「C:\MinGW\bin;C:\FK_Ming\bin」と入力する。もし MinGW および FK_Ming を C ドライブの直下以外にインストールした場合は、上記を適宜読み替えること。
7. 「OK」を押す。
8. 「OK」を押す。
9. 「OK」を押す。

この時点で管理者権限は必要としなくなるので、アカウントを標準ユーザーに戻したい場合は第 1 章の手順でアカウントの種類を変更しておくといよい。

A TextPad のセットアップ

TextPad はシェアウェアのエディタで、「<http://japan.textpad.com/>」からダウンロードして利用することができる。TextPad は、任意のコマンドを登録しメニューから呼び出す機能があり、これを利用するとコマンドプロンプトを用いずに開発することができる。

以下の手順を実行することによって TextPad 中でメニューによるコンパイルや実行が可能となる。

1. TextPad を起動する。
2. メニュー中の「設定」「環境設定」を選択する。
3. 出てきたダイアログの左側に表示されているツリーメニュー中の「ツールマネージャー」という文字を選択する。
4. 右上にある「追加」ボタンを押し、出てくるメニューで「DOS コマンド」を選択する。
5. 新たに現れたダイアログに「FK コンパイル」と入力して「OK」を押す。

6. 再び「追加」ボタンで「DOS コマンド」を選択し、今度は「FK 実行」と入力して「OK」を押す。
7. 「適用」ボタンを押す。
8. 左側のツリーメニューの「ツールマネージャー」の左側にある+ 文字をクリックし、ツリーを展開する。すると、「FK コンパイル」や「FK 実行」がツリーメニュー中に表示される。
9. ツリーメニュー中の「FK コンパイル」を選択する。
10. 右上にある「引数」というテキストボックスの中を、「fkming \$File -o \$BaseName」という内容に変更する。
11. 「適用」ボタンを押す。
12. 同様に、ツリーメニューから「FK 実行」を選択し、「引数」テキストボックスの内容を「\$BaseName」に変更して「適用」を押す。
13. 「OK」を押す。